

広島県中小企業団体中央会 2015年5月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

5月の出荷量は前月比6.8%減少、前年同月比7.0%増加、売上高は前月比7.5%減少、前年同月比7.9%増加となった。

(繊維・同製品)

●衣服・その他の繊維製品

広島県アパレル工業組合

組合員が1社倒産した。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成27年4月の全国新設住宅着工数は75,617戸で、前年同月比では0.4%増加となった。季節調整済年率換算値では91.3万戸(前月比0.7%減少)となった。利用関係別にみると、持家は23,294戸で前年同月比2.1%減少、貸家は30,603戸で前年同月比1.8%減少、分譲住宅は21,120戸で前年同月比7.2%増加となった。木造住宅着工数は40,796戸で、前年同月比1.9%増加となった。

住宅着工の動向については、昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の反動減もあり、このところ前年同月比で減少が続いていたが、足下では前年同月比で2ヶ月連続の増加となっている。

住宅着工については、今般の経済対策等を踏まえ今後の動向を注視する必要がある。

一方で、広島県内の着工数は1,422戸で前年同月比5.1%の減少となった。その内訳としては、持家が436戸で前年同月3.6%の増加、貸家が560戸で前年同月39.0%の増加、分譲が412戸で前年同月比39.0%の減少であった。

組合員にヒアリングする中でも、県内の着工数の減少等から、経営状況は依然として厳しく、景気回復の実感はないとの声が多く聞かれた。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

円安の進行にもかかわらず、国内の景況感に改善の兆しは感じられない。特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対し、部品メーカーは国内生産台数の減少やプライスダウン要請、原材料や人件費の高騰を受け、大変厳しい状況にある。

平成27年においても、円安効果には疑問を感じている。今後アメリカの金利の引き上げが実施されると、更なる円安を招き、国内の物価上昇、国債の信認低下が起きる可能性も考えられる。今は、安心して国内で雇用拡大、投資拡大を行う雰囲気ではない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

5月度は、連休に伴い稼働日数が低減して、売上は低下傾向にある。6月度の自動車関連企業の売上は、少し持ち直しが予想される。

円安がさらに進んでおり、原油市況も少しずつ値上がりしており、今後の樹脂価格が気になる。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

27年5月 2,684 m³ (対前年比 17.2%減少)

27年4月 2,808 m³

26年5月 3,241 m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

自社の従業員の確保が難しいだけでなく、取引先やその先の使用先で労働者が確保できず、売上が減少しているケースもあるようである。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

通常春先は落ち込むが、5月はゴールデンウィークなどもあり、稼働日数が少なかったため、前月比 20%減少、前年同月比 16%減少となった。

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区においては、航空機関係のみ高操業である。タービン、コンプレッサ、製鉄機械、ゴムタイヤ機械、搬送機器等は低操業の状況にある。それに伴い、協力会社各社も前月通り低操業の状況である。

(電気機器)

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

5月は連休に伴う稼働日数の減少により、売上が減少し、前月比 10%減少、前年同月比 2%増加となった。

人の集まりがよくない。特にパートタイマーの集まりが悪い。賃金の高騰が続いているので、収益や人員確保に大きな問題がでている。賃金の高騰の原因となっているため、人材派遣会社の規制が必要ではないか。

省エネ補助金は一部の業界へ恩恵があるようで、不公平感が強い。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

5月の国内自動車販売台数は全需が 336 千台、前年同月比 7.6%減少と 5ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比 1.4%増加と 2ヶ月連続の前年超え、軽自動車は 19.6%減少と 5ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は 40.2%増加と 3ヶ月連続の前年超えとなった。

アメリカの4月の全需は 1,455 千台で前年同月比 4.6%増加と 14ヶ月連続の前年超え。マツダ車も同 7.5%増加と 2ヶ月振りの前年超えとなった。

欧州の4月の全需は 1,381 千台で、前年同月比 0.3%減少と 2ヶ月振りの前年割れとなった。マツダ車も同 2.7%減少と 2ヶ月振りの前年割れとなった。

中国の4月の全需は 2,203 千台で、前年同月比 10.0%増加。マツダ車は 37.4%増加と 3ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の4月の海外販売合計台数は100千台、前年同月比14.5%増加で22ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダは北米・欧州向けの輸出台数が前年比で大幅なマイナスが続き、全体では前年比3.4%減少と9ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダの4月の国内生産台数は、海外拠点での生産拡大により輸出台数が減ったため、前年同月比11.4%減少となり、8ヶ月連続の前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の平成27年5月の建造許可実績は2隻178,900総トン（前月5隻241,600総トン、前年同月7隻222,540総トン）であった。なお、2隻は貨物船で、全て輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

船舶関連は、好況であるが、収益性は低下している。

（その他）

●家具・装備品

府中家具工業協同組合

材料費（木材等）が値上がりしている。

広島家具工業協同組合

26年度組合員の売上実績としては、前年実績を少し上回ったようである。ただし、年間受注ベースで見ると前年比10～15%減で推移しており、小売店も大手はそれなりの実績を上げているが、中小小売店は苦戦しており、全体としては中々浮上しにくい状況である。

5月の組合企画として第10回中四国家具展示会を開催したが、かなり苦戦し、来場得意先は前年比20%減であった。これから内容分析をするが、中小小売店の来場者が減少しているようである。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

県内景気は底堅く推移しており、安定感はあるものの、中小卸業者の業績は伸び悩んでいる。要因は、少子化に伴う国内消費の伸び悩みと、仕入メーカー等の製品値上げ及び人件費や運送費等の経費アップによるものが大きい。

「資材関連」においては、平成26年補正予算で地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金は受付開始後1ヶ月強で枠が一杯となり、締め切られた。しかし、省エネニーズは高く、今後も引き続き注力するとともに、注視していきたい。

「食品」においては、外食産業向け売上は対前年比5%減少で減収傾向が続いている。

「繊維」においては、婦人下着は、円安の影響により、海外製品価格が上昇し、国内製品回帰の動きはあるものの、国内工場の生産体制では受注増加に対応出来ないため、売上機会の損失となっている。

「雑貨」においては、生活雑貨は概ね横ばいで推移している。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

補助金活用を推進する中、2014年度補正予算分の地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金の受付が発表後1ヶ月強で枠が一杯になり締め切られた。予測を大幅に短縮した原因として、他の業界団体の多さを認識していなかった事と、偏った情報しか得ることが出来ていなかったことが考えられる。今後新たな補助金に関し、正しい情報を得ることが必要である。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

5月末で加盟店が1社脱退し、6月より加盟店が1社増加した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

い草の成長に合わせて時節柄、い田の網掛作業が終了した地域や現在も実施している地域がある。一方、畳表の製織は順調で、上物は早く売れている。全般的には、ゆるやかな回復基調と見ている。

中国産では、価格は高値横ばいで進んでいる。製織工場は今のところ、一部で稼働している程度である。多くの工場では、公害問題から工場の改修や移転で工場を移す計画を進めている。日本の卸業者はじっくり様子を見ている模様である。

（小売業）

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

5月17日に三次市がプレミアム商品券を6億6千万円発行した。その影響からか、5月後半は売上が若干伸び、前年を上回ることができた。

チューリップチェーン商業協同組合

5月の売上は、前年比増加となった。これは先月から続いている青果物の相場高の影響が大きい。果菜類はほぼ例年並みまで回復してきたが、今後は5月の平均気温が統計開始以来、最も高かったため、その影響を受けそうである。

また、店舗では大型店には価格で太刀打ちできないため、集客力アップのために今回は「火曜割引券」を手配りした。その結果、通常の火曜日に比べ、客数が30%増となった。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

5月度の販売実績は前年同月比10.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比0.5%増加、BDレコーダー同4.6%増加、音響・車載機器同22.5%減少、冷蔵庫同21.4%減少、洗濯機同11.9%減少、エアコン同10.4%減少、エコキュート同2.8%減少、IHクッキングヒーター同9.4%減少となった。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

暑い日が多かった影響か、来街者は少なかった。

呉市は町村合併以降、人口の減少が続いており、来街者減少の一端にもなっているようであり、今後も魅力ある商店街になるよう努力していきたい。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比17.7%減少、前年同月比1.9%減少。車検場収入は前月比12.2%減少、前

年同月比 0.9%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比 1.6%減少、前年同月比 7.5%の減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大型サイン工事もなく、低調である。益々材料支給の工事が増えている。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足である。

●情報サービス

(社) 広島県情報産業協会

案件がある中で、人材不足が依然として続いている。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

5月の売上については、前月比 11%減少、前年同月比 13%増加となっている。

前月比で見る壁装工事が 45%減少と大きな落ち込みとなったが、カーテン工事は 41%増加、敷物工事が 20%増加と大きく増加した。

前年同月比では、壁装工事については 21%減少と大きく落ち込んだが、カーテン工事は 54%増加、敷物工事は 26%増加と大きく増加した。

工事物件については、大型物件も含めやや上昇基調にあるが、企業間格差が大きい。

神辺建設業協同組合

各地方自治体の本年度予算分の建設投資の発注が始まり、各社受注に意欲的であるが、建設資材の高騰や、型枠工・鉄筋工を中心とした労務費も高騰しており、慎重な実行予算を余儀なくされている。

福山地区電気工事業協同組合

5月における工事受注件数は、前月比 20%減少、前年同月比 33%減少となった。月間 300 件を割ったのは、昨年 8 月以来の事であり、要因としては、太陽光発電の申請減と集合住宅の新築減少であると思われる。

なお、電化住宅への新築・リフォームも 60 件で前年同月比 20%減少と、個人の消費マインドの回復もまだのようである。

また、太陽光発電申請の状況を見ると、5月は 32 件（余剰買取 22 件、全量買取 10 件）と買取価格見直しと電力会社の抑制強化もあり、大幅な減少となった。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

4月に引き続き荷動きが鈍い。例年のように 6 月まで厳しい状況が続くと思われる。

広島県ロジネット協同組合

5月の荷動きは、かなり落ち着き、緩やかとなり、ここ数ヶ月の動きとは様変わりの感がある。

鉄関連は、特に出荷量が少ないようで、夏場以降までは動きはなさそうであると言われている。飲料関係は比較的堅調に推移したようである。昨年の消費税増税の影響により、その後、動きがよくなかったが、気候の影響もあるのか、5月はよく動いたようである。しかし、全般的には荷物量は少なく我慢の状態であるといえる。

軽油価格については、国内予測は5円程度の値上げと言われていたが、実際は2.5円程度の値上げで落ち着いたようである。海外原油市場も微増でとどまっている状況のようであり、しばらくは落ち着いた状態で推移するのではないかと見られている。

松永地区トラック事業協同組合

5月は、連休が多く、稼働日が少ない月であるが、一日の貨物量は4月並みで、昨年度よりは大幅に減少した。全体の貨物量は減少しており、多くの組合員では、運転手不足のため、運転者数にあわせて仕事量を調整している。

実際に多くの組合員において、賃金の減少や働きがいがないなどの理由により、運転手の退職者、転職者が目立っている。景気の回復は穏やかに進んでいるようであるが、運輸業にはほど遠い話のようである。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

4月は、公的評価報酬の入金があり、収入増となったが、5月は連休もあり、売上は減少している。前年同月比は特に変化はない。

中心部商業地の地価は、大幅に上昇傾向にあり、戸建て住宅販売はやや減少しているものの、リフォーム関連等は好調に推移している。